

大分市植田西地区での健康教室に行ってきました。

大分市の植田西地域包括支援センターさんからの依頼で、健康教室に行ってきました。今回は7名の方に参加して頂き、(株)ナガヨシさんと一緒に歩容解析を行った後、健康講話と運動を行いました。健康講話では、フレイルに関する事、姿勢に関する事をお話させて頂き、運動では、めじろん元気アップ体操にも少し触れながら皆さんで運動をしていきました。歩容解析では、満点を出した方が2名もいらっしゃったので驚きました。毎日運動すると言われる方も多数いらっしゃってとても元気な方ばかりで、逆に元気を頂きましたw



院内へ保険外サービスで介入するケースもあります。

リハビリのない病院様でも、保険外リハビリは介入する事が可能です。院内介入では今まで2件のご依頼を頂き、急性期リハビリを担う機会を頂きました。ご本人様やご家族様がより安心して病院生活が送れるよう、病棟スタッフとも連携を図りながら介入していきます。

リハビリコラム

「作業の意味」について詳しく知ろう

以前、作業の意味について少し簡単に触れましたが、今回はより詳しく説明したいと思います。作業の価値や重要性は、その作業が行われる状況によって異なります。外部から観察することが難しい事が多いので、その作業を行う人や周囲の人々に聞いてみる必要があります。例えば山に登るのは、体力増進の為なのか、年中行事としての儀式なのか、友人との約束なのか、自分の修行の為なのか、本人が思うことと、他者が予想することが同じでないかもしれません。その人が思う「作業の意味」について具体的に知る事は、その後の作業療法を行う上でとても重要になってきます。そんな時に、作業の意味について8つの側面に分解して考えると、より具体的に整理できます。8つの側面とは、「引き起こされる感情」「目的か手段か」「世界とのつながり」「生活の組織化」「自身との関連」「健康との関連」「社会の中での意味」「作業の分類化」です。これだけ聞くと訳が分からないと思うので表にまとめたものを載せます。

引き起こされる感情	自分にとって重要な作業は、感情を揺さぶる力がある。作業の成功や失敗、周囲の状況によって快あるいは不快を経験する。
目的か手段か	その作業そのものが出来ればよい(目的としての作業)場合と、別の目的を達成する為に行う作業(手段としての作業)がある。
世界とのつながり	作業を通して、人や場所や時間と繋がる事ができる。作業と結びつくことで、生きる世界が決まってくる。
生活の組織化	一日の生活は様々な作業によって構成されている。一週間、一年、一生も作業によって構成される。
自身との関連	その作業を行う事で、自分が自分であることを確認したり、自身を表現する事ができる。
健康との関連	作業療法では、作業を通して健康を促進する。その一方で、依存症や働き過ぎといった健康被害をもたらす作業もある。
社会の中での意味	時代や文化が決める作業の意味がある。その作業を行う事が集団の中での役割となって一定の地位を得る事がある。
作業の分類化	仕事か遊びか、義務か自由選択かなど、作業を分類する枠組みがある。どの枠組みに属するか決める事で意味が生まれる。

その作業をする事によって、どのような意味があり影響を及ぼすのか、この8つの側面に当てはめて考えると、価値や重要性に気付く事があります。

PR動画作成しました
 良かったら見て下さい

まずはお気軽にご連絡ください

☎ 090-5087-3813

人と人、人とまち、人と作業を繋げる。

別府市リハビリリンク

🔍 検索

